

1. 総括

TTAPのフォーマルアセスメントや、WA I Sの結果と本人とご家族の要望をもとに、個別の支援計画を作成した。本人の特性と強みを考慮し、施設内の作業環境を設定した。施設内外の実習でCSCやCSAWを活用しインフォーマルアセスメントをおこない、本人にあった職種を見極め、企業実習へと繋いだ。企業見学や学習会を開催し、本人が就労イメージを膨らませながらも、より現実的で自分に合った職業を探す支援を行った。ハローワークに登録し、雇用先の情報を得た。障害者就業・生活支援センターにも登録し、実習の際にはその都度評価やアドバイスを頂き、就労後の定着支援を連携して行った。精神的に不安定であり、企業見学や企業実習に至らなかった人たちを、デイケアや、就労継続B型事業所など、適切なサービスへと繋いだ。適応行動評価（VinelandⅡ）の研修を受けて、職員が直接評価できるようになった。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	7	8	9	8	8	8	9	8	5	5	6	4	85
退所者数	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	2	
稼働日数	20	20	20	21	20	19	22	21	21	21	18	19	242
延利用者数	93	113	124	114	94	96	119	99	78	73	75	49	1127
1日平均利用者数	4.6	5.6	6.2	5.4	4.7	5	5.4	4.7	3.7	3.4	4.1	2.5	4.6

※主な欠席理由：体調不良・精神不安定・家事都合

3. 担当職員

サービス管理責任者：神戸

就労支援員：西川

職業指導員：松崎

生活支援員：大類・川田

4. 成果と課題

(1) 就労支援

【成果】

・企業見学では、実際に働いている人たちの現場を見学し、仕事のやり方や環境も体験することでリアリティのある就労イメージを持つことができた。また、経営者や担当者からの話を聞き、好きな仕事とできる仕事の違いを学ぶことができた。

・企業見学を通して、企業側への理解啓発をする事で実習受け入れ可能企業を55か所まで増やすことができた。

(東京インテリア配送センター、東京インテリア第二本部、東京インテリア宇都宮店、東京インテリアインターパーク店、ヤマト運輸(株)、ユニクロ宇都宮店、(有)真京精機、ピバホーム鹿沼店、ヨークベニマル鹿沼睦町店、特別養護老人ホームハーモニー、セントラルカッティング(株)、ウッディパネル(株)、(株)JSPモールディング、栃木トヨタ(株)、(株)ナカニシ、菓子工房松屋、シンフォニーあわの、鹿沼花の風、(有)マーサーズ、(株)フォウルビ、河淳(株)、ゼブラ(株)、(株)シーボン、(株)共立、こいしや食品(株)、(株)こぶし

急便、(株)ヤオハンフードセンター、(株)やさしい手、カワチ薬品千渡店、ランスタッド(株)テクノセンター、温泉パン(株)、さわやか鹿沼館、(株)薄井工務店、(株)栃緬、(株)アクティチャレンジ、(有)アップライジング、上陽工業(株)、オリックスレンタカー栃木(株)、北関東物流(株)、大谷いちごクラブ、植木鋼材(株)、(株)イシカワ、鹿沼市立図書館、サンプラスチック(株)、(株)総研、(株)ジャパンエコロジーシンキング、(有)米菓工房和、バンダイナムコウィル鹿沼、(株)ヒーロー、フライングガーデンインターパーク店、(株)若山商店、ガーデンクリエイイト(株)、(株)生晃、のざわさんち) 順不同

- ・施設内の実習では、本人の特性がわかり、本人に合った作業に取り組んでもらうことで自己肯定感を高めることができた。治具や指示書、スケジュールの提示をすることで、自立して作業に取り組めるようになった。

- ・企業実習ではCSAWやCSCや、WSSPなどを活用し、具体的な評価をすることで、自分にはどのような職業があるのかを確認できた。

- ・職場体験実習では、地域の人たちに働く姿を見てもらい、認めてもらい、交流を重ねることで自信がつき、企業実習へ意欲的になった。

- ・障害者就業・生活支援センターと連携し定着支援を行った。

- ・就労アセスメントにより、2年間の訓練機関での就労が難しい人には、就労継続B型の利用を勧めた。

- ・学習会として、見学の振り返りを行い、自己評価・他者評価を確認することで自信や自己理解のプロセスにつながるきっかけになった。また、利用者さんが日頃感じている悩みや困りごとの意見交換ができ、互いに励まし合いながら向上することができた。

- ・定期的に、学習会を開催することができた。(アドラー心理学、感情のワークショップ、CLSP) 就労を続けるために必要な感情のコントロールの仕方や、お金の使い方などを学ぶことができた。

【課題】

- ・特別支援学校からの、就労アセスメントの日程調整に課題がある。同時に複数の実習生を受け入れて、5日間で評価し、書類を作成することは、現在の体制では難しい。

- ・ご家族とご本人との、価値観が違う場合もあるので、インターク時にご家族とも面談し、ご家族の意向も確認しておく必要がある。

(2) 生活支援

【成果】

- ・余暇活動を通して仲間とのコミュニケーションを学んだ。

- ・余暇活動をモチベーションに企業実習に取り組むことができた。

- ・OBも対象にした余暇活動を行い、就労後もつながり様子を見守ることができた。

OBとの交流を通して就労への意欲喚起を促すことができた。

- ・得意な事を皆で共有することで自信を持つことができた。

- ・個別の相談には随時対応し、解決方法を一緒に考え助言することで、信頼関係を築き、自分一人で抱え込まず相談できるようになった。

- ・GHの職員と情報を共有し、同じ目標に向かって支援することができた。

- ・一人で通院することを目標に通院同行し、その後自立して通院できるようになった。

(3) 入口強化

- ・特別支援学校、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、発達障害者支援センター、鹿沼市自立支援協議会等との連携で信頼関係を築き利用者を紹介してもらった。

- ・フェイスブック等、一般の人から関係者まで幅広い層の理解者をリアルタイムで得ることができ、訪問先での話題が増え、実習先企業のイメージアップにも貢献した。

- ・発達障害者支援セミナー(栃木県から依頼)の講師を務め、支援事例の報告をしたことで、相談支援センターからの紹介が増えた。

- ・KDSや、CCV学園との連携で利用者さんが増えた。

(4) 職員会議・支援会議

○職員会議

- ・毎月1回開催
- ・研修報告を通して、職員のスキルアップを図った

○支援会議

- ・月に1回開催

(5) 研修会

- ・自閉症スペクトラム学会（西川）
- ・自閉症カンファレンス2019（西川）
- ・就業支援基礎研修（松崎）
- ・障害者虐待防止・権利擁護研修（西川）
- ・精神・発達障害者職場定着サポートスキルアップ研修（西川）
- ・訪問型職場適応援助者研修（西川）
- ・サービス管理責任者基礎研修（西川）